

平成18年度 第3四半期決算 Conference Call

平成19年1月29日
塩野義製薬株式会社





Agenda

■ 平成18年度 第3四半期決算の概要	ページ
■ 経営成績	2
■ 財政状態	3
■ キャッシュ・フローの状況	3
■ セグメント別売上高	4
■ 損益計算書概要	6
■ 損益計算書の主なポイント	7
■ パイプラインの進捗状況(中間決算発表時以降)	8



平成18年度 第3四半期決算：経営成績（連結・単体）

（単位：億円）

<連結>

	18年4-12月 実績	17年4-12月 実績	対前年同期 UP率%
売上高	1,493	1,518	△ 1.7
営業利益	212	245	△ 13.5
経常利益	213	251	△ 15.3
当期純利益	126	209	△ 39.4

<単体>

売上高	1,398	1,405	△ 0.5
営業利益	182	215	△ 15.7
経常利益	194	236	△ 17.6
当期純利益	114	242	△ 52.9



平成18年度 第3四半期決算：財政状態・キャッシュフロー（連結）

（単位：億円）

<財政状態>

	18年12月期 実績	18年3月期 実績	増減
総資産	4,263	4,276	△ 13
純資産	3,429	3,374	55
自己資本比率	80.4%	78.8%	+ 1.6%
1株当り純資産	1,006円54銭	989円76銭	16円78銭

<キャッシュ・フローの状況>

	18年4-12月 実績	17年4-12月 実績	増減
営業活動によるC / F	22	82	△ 60
投資活動によるC / F	△ 81	32	△ 113
財務活動によるC / F	△ 69	△ 246	177
計	△ 128	△ 132	4
現金等期末残高	633	829	-



平成18年度 第3四半期決算：セグメント別売上高（連結）

累計	18年4-12月 実績	17年4-12月 実績	(単位：億円) 対前年同期 UP率%
医療用医薬品	1,204	1,279	△ 5.8
フロモックス	232	259	△ 10.3
フルマリン	112	131	△ 14.6
塩酸バンコマイシン	103	126	△ 18.6
イムネース	90	86	4.9
クラリチン	42	52	△ 19.1
オキシコンチン	40	34	20.6
MSコンチン	21	29	△ 26.7
フィニバックス	15	4	286.7
アベロックス	22	16	39.6
クレストール	14	1	-
セトロタイド	1	-	-
製造受託	31	13	133.5
一般用医薬品	49	51	△ 3.5
診断薬	25	26	△ 3.7
工業所有権等使用料収入	137	65	111.6
クレストール	126	54	134.2
カプセル	-	61	-
不動産賃貸・その他	48	25	94.0
合計	1,493	1,518	△ 1.7

※ 医療用医薬品の製品別売上高は単体売上高



平成18年度 第3四半期決算：セグメント別売上高（連結）

	18年10-12月 実績	17年10-12月 実績	(単位：億円) 対前年同期 UP率%
医療用医薬品	443	483	△ 8.2
フロモックス	94	107	△ 12.4
フルマリン	38	44	△ 13.5
塩酸バンコマイシン	31	44	△ 29.6
イムネース	34	33	3.1
クラリチン	17	19	△ 11.2
オキシコンチン	16	13	16.8
MSコンチン	8	10	△ 17.2
フィニバックス	6	3	88.5
アベロックス	11	16	△ 32.3
クレストール	3	0	-
セトロタイド	1	-	-
製造受託	14	7	89.4
一般用医薬品	18	18	△ 1.4
診断薬	8	8	△ 2.8
工業所有権等使用料収入	54	23	130.5
クレストール	52	22	139.3
カプセル	-	-	-
不動産賃貸・その他	35	10	249.0
合計	572	550	4.0

※ 医療用医薬品の製品別売上高は単体売上高



平成18年度 第3四半期決算：損益計算書概要（連結）

（単位：億円）

	18年4-12月 実績	17年4-12月 実績	対前年同期 UP率%
売上高 (ロイヤルティ)	1,493 (137)	1,518 (65)	△ 1.7 (111.6)
	33.8 (37.2)	35.5 (37.1)	
売上原価	505	539	△ 6.4
売上総利益	988	979	1.0
	52.0	48.3	
販売費・一般管理費	776	733	5.8
販売・管理費	499	499	0.0
研究開発費	276	233	18.3
	14.2	16.2	
営業利益	212	245	△ 13.5
営業外損益	1	6	
	14.3	16.6	
経常利益	213	251	△ 15.3
特別損益	8	105	
税金等調整前当期純利益	221	356	△ 38.0
税金費用他	94	146	
	8.5	13.8	
当期純利益	126	209	△ 39.4



平成18年度 第3四半期決算：損益計算書の主なポイント（連結）

（単位：％）

■売上高

△1.7

- クレストール、BNPなどのロイヤルティ収入の増加
- 医療用医薬品では、フィニボックス、アベロックス、クレストール等の新製品の売上増加への貢献はあったものの、主力製品の販売計画に対する進捗遅れにより、薬価改定等のマイナス要因をカバーできず、医療用医薬品全体では減収
- 製造受託事業、不動産賃貸・その他事業（建設工事の受託）の売上拡大
- カプセル事業の売却に伴う売上の減

■営業利益

△13.5

■経常利益

△15.3

- ロイヤルティ収入の増加による利益貢献
- 原材料費の削減を中心とした製造原価の低減
- 研究開発費の大幅な増加や販売拡大施策による販売費・一般管理費の増加を医療用医薬品等の販売増加によりカバーしきれず、減益

■当期純利益

△39.4

- 前年同期にカプセル事業売却益があったため、減益



パイプラインの進捗状況（中間決算発表時以降）

開発段階の進展

- SR-47436（イルベサルタン, 高血圧）
 - ◆ 2006年12月申請完了
- S-7701（ピルフェニドン, 特発性肺線維症）
 - ◆ Ph3完了 ⇒ 今年度内申請予定
- NS75B（パモ酸セトロレクス, 前立腺肥大症）
 - ◆ 日本化薬株式会社との共同開発を解消、シオノギ単独での開発を継続
 - ◆ 2006年12月からPh2aを開始
- S-2367（肥満症）
 - ◆ 今年度内にPh2b開始予定
- S-364735（HIV感染症）
 - ◆ Ph2を開始

導出品の状況

- S-4661（ドリペネム, カルバペネム系抗生物質）
 - ◆ 導出先のJ&J社により2006年12月米国申請（欧州は申請準備中）

自社開発中止

- S-0373（脊髄小脳変性症, パーキンソン病）
 - ◆ 自社での開発を行わず、導出を検討中



End of File